

第1号議案資料

2024年度

事業報告

2025年6月

# 目 次

法人の理念・2024年度法人総合目標	P.2
1. 法人総括報告	P.3
2. 法人本部報告	P.4
3. 各拠点総括報告	P.5
4. 共生園 事業報告	
(1) 共生園 短期入所生活介護事業所	P.7
(2) 共生園 介護老人福祉施設	P.8
5. 大台共生園 事業報告	
(1) 大台共生園 短期入所生活介護事業所	P.9
(2) 大台共生園 通所介護事業所	P.10
(3) 大台共生園 居宅介護支援事業所	P.11
(4) 大台共生園 介護老人福祉施設	P.12
6. グレースケアプランセンター 事業報告	P.13

## 法人の理念

### <理 念>

善い隣り人となって、共に生きる。

### <目指しているケアの方針>

一人ひとりがその人らしく生活できるように、サポートすることを目指しています。

### <日常指針>

- 一、一人ひとりを個人として尊重し、愛をもって仕えよう。
- 一、明るく笑顔で接し、良識と責任ある行動をとろう。
- 一、積極的に、創造的に、地域のニーズを捉え、貢献しよう。

## 2024 年度 法人総合目標

- 年間指標 : 『 善い隣り人となって、共に生きる。 』
- 年間目標 : 利用者様が人生の夕暮れ時に光を感じることができるよう、利用者様の生活全般を尊厳をもってサポートし、「善隣共生の介護」を推進する。
- 収入目標 : 723,208,000 円の達成

社会福祉法人キングスガーデン三重は、上記事項を実行することにより、  
入居者様・利用者様・家族様・地域の皆様に貢献していく。

# 1. 法人総括報告

世間ではコロナウイルス感染に対する感覚が薄れてきているが、リスクの高い高齢者施設においては、感染拡大時の影響を考慮し、依然として慎重な対応を取らざるを得ない状況である。実際、大台共生園では昨年3月から5月、および12月から1月にかけて、特養とショートステイでクラスターが発生し、その対応に苦慮した。共生園ではクラスターには至らなかったが、引き続き細心の注意を払い、感染防止に努めている。

一方で、施設で単調に過ごす利用者の生活に彩りを与えるべく、大台共生園では春のBBQやキッチンカー、移動販売、外出行事を実施し、共生園でも「故郷訪問」と題した外出行事を行い、いずれも好評を博している。どこで折り合いをつけるかを模索しながら、各施設で行事や面会を再開した一年となった。

また、健康状態が悪化し、救急搬送による入院を経て終末期を迎え、施設や病院で最期を迎える方も多く、収支にも大きな影響を及ぼしている。

今期の収支は2,284万円の赤字決算となり、前期と比べ約2,500万円悪化する厳しい状況である。共生園・大台共生園ともに入所部門の稼働率が低下し、特にコロナクラスター発生時は新規受け入れを停止することから、稼働率の減少が収支に大きく影響している。さらに、共生園における介護・看護職員の人員不足は深刻である。介護職員は技能実習生や特定技能職員で補充しているものの、言語の壁もあり育成は緩やかである。一方、日本人介護職員の即戦力補充は極めて困難であり、ジレンマを抱えている。

この背景には、2025年問題（団塊世代の後期高齢化）や人口減少の影響があり、地方に位置する当法人では特に顕著である。これらの課題を打破するには賃金改善が必要だが、物価や光熱費の高騰、仕入れ単価の上昇、施設修繕費の増加など、事業費・事務費ともに前年度比で6~7ポイント増加しており、人件費に充てる原資の確保が困難な状況にある。

今後、事業を継続していくためには、稼働率の維持・向上が最重要課題である。そのため、外国人を含めた介護・看護職員の確保と、ICTを活用した業務効率化を推進する必要がある。これには先行投資も不可欠であり、限られた資源を有効活用しながら持続可能な事業運営を行うことが、当法人に課せられた使命である。

今後ますます厳しい時代が到来するが、職員同士が互いを尊重し、しっかりと同じ方向を向いて進む姿勢が求められている。困難な状況だからこそ、知恵と工夫を結集し、持続可能な運営体制を築いていくことが必要である。

理事・評議員各位のご理解とご支援を賜りながら、法人一丸となって経営改善と地域貢献に取り組んでまいりたい。

## 2. 法人本部報告

### 1. 企 画

- ①広報宣伝活動：人材募集や情報公開等のためにホームページの情報を一部更新したが、活用するまでには至らなかった。
- ②法人機能の ICT 化：ICT 化による業務効率化への取り組みの一環として、大台共生園の施設内ネットワークの強化を行った。次年度は共生園も行い、介護の ICT 化を進めていきたい。また、勤怠や人事管理のシステムに関しての情報収集を行い、導入に向けて比較検討を行っていく。

### 2. 人 事

- ①人材確保活動：求職サイトや人材紹介、外国人技能実習生・特定技能等を活用し、人材確保を行った。しかし、看護職員の確保は苦戦している。今後も継続して確保する。新卒採用活動については、高卒採用はできず。施設の魅力を求職者にかかにアピールしていくかが課題である。
- ②人事管理システムの整備：人事管理システムを導入することで情報を集約化し、業務省力化を図っていくために、情報収集を行った。また、e-ラーニングについては、事業所によって進捗の違いがあるため、次年度では是正していく。
- ③2024 年度 3 月 各拠点での介護・看護職員の必要人数と実人数の比較（人）

		介護職		看護職		合計	
		正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
共生園	必要数	20	2	2	1	22	3
	実人数	18	10	2	2	20	12
	差引	△2	+8	0	+1	△2	+9
大台在複	必要数	14	3	1	2	15	5
	実人数	12	5	1	1	13	6
	差引	△2	+2	0	△1	△2	+1
大台特養	必要数	23	8	3	0	26	8
	実人数	17	10	2	1	19	11
	差引	△6	+2	△1	+1	△7	+3
全体	必要数	57	13	6	3	63	16
	実人数	47	25	5	4	52	29
	差引	△10	+12	△1	+1	△11	+13

### 3. 財 務

- ①会議等で月次決算書を活用し、事業採算について協議が取れるように進めているが、共生園においては、職員の高齢化や要員の不足もあり、思うように進んでいない。
- ②経費の削減については、適正な使用や購入に努めているが、物価高騰の煽りを受けて、高止まりしているのが現状である。また、業務の効率化への取り組みについては、情報収集・情報提供や啓発を始めたところである。今後も継続して進めていく。

### 4. 総 務

- ①経年劣化による建物・設備機器類の更新については、施設ごとに対応しており、法人本部として必要なところは、施設と協力・連携して行っている。
- ②業務継続計画（BCP）については、施設と連携し、必要に応じて適宜更新を行っている。

## 3. 各拠点総括報告

### 1. 共生園

#### ■年間目標

感染予防対策に伴う行動制限が緩和され平穏な日常が戻りつつある。施設においても昨年に引き続き感染対策に留意しつつ、入居者、利用者の生活を活性化した活動（アクティビティ）を提供し心の充実感やはりのある生活によって生きがいを見出して頂く。令和6年度介護報酬改定事項である LIFE を活用した質の高い介護を提供できるよう見直しを行う。

また、少子高齢化による人材不足を解消するために外国人介護人材の受け入れを行うためのサポート体制を整える。

#### ■活動報告

- ・事業活動収入予算 : 283,083,000 円  
上記の目標に対し、当期収入 270,847,885 円（達成率 95.7%）
- ・認知症や介護、医療について e-ラーニングを活用して学習し、知識や技術の習得と共有を図り、専門性の質を向上させることができた。外部研修については感染対策に留意し次年度は積極的に参加を促したい。
- ・業務に関しては、多種職連携により課題解決に取り組むことができた。
- ・技能実習生も順調に介護技術を取得し、積極的に利用者との関わりを持って業務に当たっている。また、生活の場も徐々に広げ、日本での生活に慣れてきている。
- ・事業継続計画に関しては、感染症関連物品、非常食の整理を行っている。
- ・日常的な要員不足の解決には至らず雇用の継続が困難である。特に看護師の一人勤務の日が増え負担が大きい。早急な人員確保が必須である。

### 2. 大台共生園

#### ■年間目標

施設の機能を活かし、事業所間で情報を共有しながら、多職種で連携し、利用者様が満足できる質の高い介護サービスを提供していくことを目指す。また、行事等での様子を SNS 等で対外的に発信していく。職員が働きやすい職場となるために、ハラスメントや虐待防止を強化していく。また、ICT化に取り組み、業務の省力化・生産性向上に取り組んでいく。

#### ■活動報告

##### (1) 在宅介護複合施設

- ・事業活動収入予算 : 173,340,000 円  
上記の目標に対し、当期収入 166,812,323 円（達成率 96.2%）
- ・令和6年度は、各事業所が地域ニーズに応えるため、稼働率の向上・利用者満足度の向上を重点課題として取り組みました。特に、空床情報の積極的な提供や SNS・広報誌を活用した情報発信により、新規利用や休止していた利用者の再利用へとつなげることができた。
- ・ワイズマンや iPad など ICT を活用し、多職種間の情報共有や外国人介護人材との業務効率化を図るとともに、コグニバイク導入によるリハビリ強化などサービスの質の向上にも努めた。
- ・ハラスメント・虐待防止対策の推進、研修参加による職員のスキルアップ、働きやすい職場環境整備にも継続して取り組み、法人理念「善隣共生」の実践を目指した。

## (2) 特別養護老人ホーム

・事業活動収入予算 : 253,920,000 円

上記の目標に対し、当期収入 247,209,701 円 (達成率 97.4%)

- ・入居者様の日々の健康状態を多職種で綿密に把握し、わずかな異変も見逃さず早期対応に努めた。入院を防ぎ、入居者様の健康維持に努めるとともに、空床の迅速な利用促進を図った。今後も安定した運営と質の高い看護・介護の両立を目指していく。
- ・職員間での情報共有体制を強化し、縦横の連携を密にすることで、入居者様の状態変化への迅速な対応を実現した。多職種連携を活用し、空床利用や看護ケアの質向上につなげた。
- ・看取りケアの対象者が増加する中、状態に応じた適切なケアを多職種で連携して提供している。職員の看取り対応スキル向上にも注力し、安心して看取りに臨める体制を整備していく。
- ・夏祭り、敬老会、クリスマス会など、多様な行事を企画し、入居者様に楽しんでいただいた。個別の誕生日会や外出も実施し、日常に彩りを添えていきたい。感染対策を継続しながら、今後も入居者満足度の向上に努めていく。
- ・歯科医師による口腔衛生指導や認知症介護基礎研修を積極的に実施し、職員の専門性を高めている。また、ハラスメント及び虐待防止のための研修・委員会活動を継続し、安心して働ける職場環境の整備に努めている。

## 3. グレースケアプランセンター

### ■年間目標

地域社会における居宅介護支援の相談窓口として、善隣共生の介護支援に取り組み、効率的効果的な事業運営を推進する。

### ■活動報告

・事業活動収入予算 : 6,240,000 円

上記の目標に対し、当期収入 6,414,352 円 (達成率 102.8%)

- ・令和6年度介護保険制度改正に対応し、指針マニュアル整備や法令遵守体制の強化を図った。
- ・専任1名での運営においては、ICT化を進めることで業務効率化を図り、安定した相談支援体制を確立している。
- ・行政機関や他事業所との連携を密にし、地域の実情に応じた柔軟なケース支援を実践し、地域に根差した支援拠点としての役割を果たしている。

## 4. 共生園 事業報告

### (1) 共生園 短期入所生活介護事業所

事業活動収入 360 万円/月、11.4 名/日 (稼働率 95.0%)  
 上記の目標に対し、当期事業活動収入 359 万円/月、10.9 名/日 (稼働率 91.1%)

1. イーケアラボを活用し、認知症や介護、医療について学習し知識や技術の共有を図り、専門性の質を向上させる。(前年度継続)
  - ・上半期に続き、動画で学んだ内容を職員の会話の中で聞くことができ動画研修の効果を感じている。
  - ・課題として、受講時間や時間外での動画視聴になり、負担が大きくなるか懸念している。
2. 報告、連絡、相談、確認を適切に行い、多職種連携を深め、課題の早期解決を図る。(前年度継続)
  - ・上半期に続き役職や委員会の役割、経験年数によるが課題に対し、早期に話し合い、課題解決を図る ことができているよう感じる。
  - ・日Aと医務Aを中心に日々起こることに対し調整を行い、業務を行えているよう感じる。
3. 技能実習生の受け入れに伴い、日本の生活に慣れてもらえるようコミュニケーションをとりながら介護技術を習得できるよう教育していく。
  - ・前年度に引き続き、仕事を教える側、教えられる側ともに、お互いを気遣い業務をこなしてくれて順調に仕事をこなすことができている。
  - ・仕事以外で、買い出しや郵便局など仕事以外必要なこと、休憩中や仕事の合間に困ったことがないか聞き、フォローしながら日本の生活に慣れてもらうよう、調整した。

#### <共生園 短期入所生活介護事業所 実績表>

月	総数 (予防件数)	平均	新規	利用料等収入	減免額(件数)	備考
4月	322( 0)	10.7	1	3,426,325	0(0)	2020 年度利用実績 利用者数 10.7 人/日 利用収入 341 万円/月
5月	341( 0)	11.0	3	3,616,045	0(0)	
6月	335( 0)	11.2	1	3,601,050	0(0)	
7月	309( 7)	10.0	2	3,306,475	0(0)	2021 年度利用実績 利用者数 10.0 人/日 利用収入 323 万円/月
8月	357( 4)	11.5	3	3,870,565	0(0)	
9月	354( 0)	11.8	2	3,775,925	0(0)	
10月	355( 0)	11.5	3	3,837,395	0(0)	2022 年度利用実績 利用者数 10.1 人/日 利用収入 320 万円/月
11月	352( 0)	11.7	1	3,802,793	0(0)	
12月	329( 0)	10.6	1	3,635,770	0(0)	
1月	332( 3)	10.7	1	3,612,440	0(0)	2023 年度利用実績 利用者数 9.9 人/日 利用収入 323 万円/月
2月	275( 6)	9.8	2	2,985,648	0(0)	
3月	330( 6)	10.6	3	3,601,441	0(0)	
合計	3,991(26)	10.9	23	43,116,527	0(0)	平均 10.9 人/日、359 万円/月

## (2) 共生園 介護老人福祉施設

事業活動収入 1,990 万円／月、55.1 名／日 (稼働率 95.0%)  
 上記の目標に対し、当期事業活動収入 1,899 万円／月、51.4 名／日 (稼働率 88.7%)

1. イーケアラボを活用し、認知症や介護、医療について学習し知識、技術の共有を図り、専門性の質を向上させる。(前年度継続)
  - ・上半期に続き、動画で学んだ内容を職員の会話の中で聞くことがあり動画研修の効果を感じている。
  - ・課題として、受講時間や時間外での動画視聴になり、負担が大きくならないか懸念している。
2. 報告、連絡、相談、確認を適切に行い、多職種連携を深め、課題の早期解決を図る。(前年度継続)
  - ・上半期に続き役職や委員会の役割、経験年数によるが課題に対し、早期に話し合い、課題解決を図ることができているよう感じる。
  - ・日Aと医務Aを中心に日々起こることに対し調整を行い、業務を行えているよう感じる。
3. 技能実習生の受け入れに伴い、日本の生活に慣れてもらえるようコミュニケーションをとりながら介護技術を習得できるよう教育していく。
  - ・前年度に引き続き、仕事を教える側、教えられる側ともに、お互いを気遣い業務をこなしてくれて順調に仕事をこなすことができている。
  - ・仕事以外で、買い出しや郵便局など仕事以外必要なこと、休憩中や仕事の合間に困ったことがないか聞き、フォローしながら日本の生活に慣れてもらうよう、調整した。
4. 業務継続計画に合わせて必要物品の保管場所を使いやすいように整理し直す。
  - ・感染症対応用品、非常食の整理を行った。
  - ・非常食の保管状況が一部事業継続計画と噛み合っていないのですり合わせが必要。

### <共生園 介護老人福祉施設 実績表>

月	総数	平均	新規	利用料等収入	減免額(件数)	備考
4月	1,570	52.3	1	18,723,105	0(0)	2020年度利用実績 利用者数 48.9人/日 利用収入 1,708万円/月
5月	1,606	51.8	3	19,180,347	0(0)	
6月	1,551	51.7	2	18,935,895	0(0)	
7月	1,610	51.9	1	19,649,587	0(0)	2021年度利用実績 利用者数 53.7人/日 利用収入 1,895万円/月
8月	1,588	51.2	1	19,420,217	0(0)	
9月	1,447	48.2	0	17,698,060	0(0)	
10月	1,474	47.5	2	18,000,722	0(0)	2022年度利用実績 利用者数 55.0人/日 利用収入 1,934万円/月
11月	1,508	50.3	3	18,112,420	0(0)	
12月	1,616	52.1	1	19,687,672	0(0)	
1月	1,622	52.3	1	19,799,422	0(0)	2023年度利用実績 利用者数 52.3人/日 利用収入 1,860万円/月
2月	1,504	53.7	1	18,325,261	0(0)	
3月	1,674	54.0	0	20,391,541	0(0)	
合計	18,770	51.4	16	227,924,249	0(0)	平均 51.4人/日、1,899万円/月

## 5. 大台共生園 事業報告

### (1) 大台共生園 短期入所生活介護事業所

事業活動収入 1,030 万円／月、29.0 名／日 (稼働率 96.7%)  
上記の目標に対し、当期事業活動収入 970 万円／月、27.8 名／日 (稼働率 92.7%)

1. 稼働率の向上が図れるように、地域の居宅介護支援事業所に空床情報を提供すると共に、緊急ショートについても柔軟に対応して地域のニーズにも応えていく。また、新規受入れも積極的に行い、定期的な利用につなげベッドコントロールを行う。
  - ・今期は、下期にコロナ集団感染で数字を落とした。さらに年末年始にかけて特養の空きベッドを埋めるために、複数名特養入居となり、入所調整が困難だったこともあり、稼働率が低下した。在宅介護サービスを経由した施設入所の流れは、大台共生園を運営していく上で重要なことなので、今後は計画的なベッドコントロールができる体制を作っていく。
  - ・上記の反省点をふまえて、空床解消に向けて各居宅に空き状況を F A X で案内し、入所しやすく利用のなかった居宅からも新規利用の申し込みがあり、成果が見られた。次年度も引き続き定期利用に繋がられるようにアプローチし、利用促進を図る。
2. 多職種連携で利用者様の健康状態や状態変化の把握に努める。
  - ・上期と同様にワイズマン(介護記録ソフト)を活用し、多職種で情報共有を行い、重症化防止に努めることができた。
  - ・特定技能の外国人介護職員受け入れにあたり、ワイズマンシステム説明会参加を通じて得た知識を活用し、タブレット端末での申し送りや翻訳機能付き介護記録の閲覧を実現した。これにより情報共有が円滑になり、業務効率化を図ることができた。今後も介護 I C T の導入を検討し、さらなる効率化に取り組む。
3. 利用者満足度向上につながる、良質な介護サービスの提供。感染対策を徹底した上で外出や施設内行事を実施し、利用者様の満足度向上につながる各種サービスを提供していく。
  - ・短期入所主催での B B Q は毎年春の恒例行事として定着しており、職員や利用者様からも高評価を得ている。今後も継続していくとともに、他にもコンスタントに開催できるようなイベントを企画していく。
4. ハラスメント対策への取り組み・強化 (ハラスメント防止対策義務化に伴い)。虐待防止に関する取り組み・強化。
  - ・虐待防止委員会の定期開催を実施した。今後も必要に応じて、ハラスメントに関する勉強会や研修への参加も促していく。

<大台共生園 短期入所生活介護事業所 実績表>

月	総数(予防件数)	平均	新規	利用料等収入	減免額(件数)	備考
4月	893(0)	29.8	1	9,989,249	0(0)	2020年度利用実績
5月	905(0)	29.2	2	10,063,579	0(0)	利用者数 22.3人/日
6月	807(0)	26.9	3	9,261,526	0(0)	利用収入 739万円/月
7月	860(0)	27.7	3	9,770,871	0(0)	2021年度利用実績
8月	882(2)	28.5	4	10,192,915	0(0)	利用者数 26.3人/日
9月	893(5)	29.8	2	10,331,218	0(0)	利用収入 907万円/月
10月	916(0)	29.5	3	10,686,340	0(0)	2022年度利用実績
11月	825(0)	27.5	3	9,533,428	0(0)	利用者数 28.6人/日
12月	821(0)	26.5	4	9,455,915	0(0)	利用収入 984万円/月
1月	766(0)	24.7	5	8,842,342	0(0)	2023年度利用実績
2月	771(5)	27.5	8	8,941,535	0(0)	利用者数 28.9人/日
3月	811(0)	26.2	7	9,450,590	0(0)	利用収入 997万円/月
合計	10,150(12)	27.8	45	116,519,508	0(0)	平均 27.8人/日、970万円/月

## (2) 大台共生園 通所介護事業所

事業活動収入 360万円/月、16.2名/日 (稼働率 85.0%)  
 上記の目標に対し、当期事業活動収入 343万円/月、15.7名/日 (稼働率 82.6%)

- 法人理念の理解に努め、善隣共生を実践する。
  - 毎日の朝礼にて法人理念、日常指針を唱和している。
  - 個々の関りを大切にしている。その中でニーズを捉え、必要な支援を実践している。
- 介護保険改正への理解を深め対応する (法令遵守、安定した経営基盤の構築)。
  - 法令遵守を行いながら、何が出来るかを常に考え、サービスの質の向上、プログラムの開発に努めた。
  - 介護保険改正、料金改定に対しても他事業所や本人・ご家族に対して迅速なアナウンス・対応を行った。
- 多職種で連携し自立支援・重度化防止に向けた対応・支援を行う。
  - コグニバイクを導入し、リハビリプログラムの充実に努めた。
  - コミュニケーションを取り、多職種で情報共有、報連相を徹底した。ご利用者の状態変化の早期発見に努め、必要時には受診を促すことで、入院等による長期キャンセル等にならないように支援した。
- SNSを活用した広報活動に力を入れる。
  - 上記を実践することで、前年度に続き過去最高の利用者数を達成した。広報活動に力を入れたことが大きな要因であると感じている。事業所の Instagram は 3,200 を超えるフォロワーがあり、地域の事業所やご家族が発信を閲覧している。
  - 日常の様子を記録(写真)することにもこだわりを持ち、それらを Instagram や広報誌(茶畑)で発信している。反応が大きく、SNS、広報誌を通して新規利用につながったケースもあり、事業所の大きな武器であると感じている。

5. 質の高いサービス提供の為の研修参加や働きやすい職場づくりを行う。

- ・大台町の地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会に参加し地域の福祉、医療関係者との情報交換、関係構築に努めた。
- ・デイ協の研修(オンライン)も活用し自己研鑽に努めている。
- ・利用者の満足度向上、職員への福利厚生の一環として自販機2台を導入し売店運営を行っている。想像を超える利用があり、地域でも「自販機のある施設」とロコミが広がっていることを実感している。

<大台共生園 通所介護事業所 実績表>

月	総数(総合事業件数)	平均	新規	利用料等収入	減免額(件数)	備考
4月	377(27)	14.5	2	3,142,020	0(0)	2020年度利用実績
5月	400(33)	14.8	0	3,303,180	0(0)	利用者数 7.5人/日
6月	392(31)	15.7	4	3,303,540	0(0)	利用収入 146万円/月
7月	439(45)	16.3	5	3,657,980	0(0)	2021年度利用実績
8月	397(39)	14.7	2	3,334,110	0(0)	利用者数 6.9人/日
9月	417(40)	16.7	2	3,571,070	0(0)	利用収入 134万円/月
10月	439(54)	16.3	2	3,641,030	0(0)	2022年度利用実績
11月	411(37)	15.8	4	3,560,720	0(0)	利用者数 11.2人/日
12月	423(33)	16.3	1	3,689,650	0(0)	利用収入 249万円/月
1月	341(33)	14.8	1	3,002,230	0(0)	2023年度利用実績
2月	390(30)	16.3	4	3,391,790	0(0)	利用者数 14.5人/日
3月	411(41)	15.8	1	3,544,060	0(0)	利用収入 312万円/月
合計	4,837(443)	15.7	28	41,141,380	0(0)	平均 15.7人/日、343万円/月

### (3) 大台共生園 居宅介護支援事業所

事業活動収入 54.5万円/月、43.0件/月

上記の目標に対し、当期事業活動収入 65.7万円/月、55.0件/月

1. 多様化・複雑化する課題に対応するため、研修会などに参加し柔軟な対応が出来るよう取り組む。
  - ・幅広く研修会に参加し知識を深めることができた。また研修会に参加することで介護支援専門員同士の繋がりを持ち、事業所の垣根を越えて柔軟な対応に取り組むことができた。
2. ICTを活用し多職種との円滑な情報共有を行い、サービスの品質向上や利用者満足度の向上に繋げていく。
  - ・iPad 利用しスムーズに情報共有ができるようになり、円滑なサービスの提供に繋げることができた。

<大台共生園 居宅介護支援事業所 実績表>

月	居宅件数	調査	利用料等収入	備考
4月	48	0	600,610	2020年度利用実績 利用者数 22.4件/月 利用収入 27万円/月
5月	49	0	624,000	
6月	50	0	607,080	
7月	53	0	645,410	2021年度利用実績 利用者数 30.0件/月 利用収入 37万円/月
8月	51	0	621,190	
9月	53	0	645,660	
10月	56	0	681,050	2022年度利用実績 利用者数 36.1件/月 利用収入 44.3万円/月
11月	56	0	657,440	
12月	61	0	731,950	
1月	62	0	711,680	2023年度利用実績 利用者数 44.6件/月 利用収入 54.3万円/月
2月	63	0	687,900	
3月	61	0	675,910	
合計	663	0	7,889,880	平均 55件/月、65.7万円/月

## (4) 大台共生園 介護老人福祉施設

事業活動収入 2,116万円/月、48.5名/日 (稼働率 98.0%)  
 上記の目標に対し、当期事業活動収入 2,025万円/月、46.5名/日 (稼働率 93.0%)

- 採算を重視した、生命維持を基本とする看護・介護・相談援助の展開。
  - 入居者の日々の様子や状態を把握し、少しの状態変化にも気付き、多職種で支援、援助を行うことに努めた。今後も入院にならないように、異常の早期発見、早期対応に努め、入居者の健康状態の維持に努める。
  - 入院等での空きベッド解消の為、多職種連携して積極的かつ速やかに空床利用の利用者を受け入れた。
- 職員間のコミュニケーションを深め、タテ・ヨコの報告・連絡・相談の改善。
  - 入居者の日々の様子や状態を把握し、少しの状態変化にも気付き、多職種で支援、援助を行うことに努めた。今後も入院にならないように、異常の早期発見、早期対応に努め、入居者の健康状態の維持に努める。
  - 入院等での空きベッド解消の為、多職種連携して積極的かつ速やかに空床利用の利用者を受け入れた。
- 施設内での看取り介護の支援について、多職種連携でシステムの見直しをする。看取り介護に至るまでの連続したチームケアに取り組む。
  - 日々状態が変化していく中で、その時の状態に応じたケアを、多職種連携のもと行えた。また看取り対象の方が増え、職員も日々の対応で看取りについて学ぶ機会があり、看取りの対応もスムーズに行えるようになってきた。
- 外出行事について、今年度は感染対策を徹底した上で、ユニットごとや個別の外出や施設

内行事を実施し、入居者様の満足度向上につながる各種サービスを提供していく。

- ・夏祭りや敬老会、クリスマス会の行事を開催し、入居者様に楽しい時間を過ごしていただいた。また以前から行っている入居者様の誕生日会、外出行事も行い、喜んでいただいた。来期も感染対策を行った上で多職種連携して行事を計画、外出行事も積極的に実行し、入居者様に有意義な時間を過ごしていただきたい。

5. 前年度に引き続き、歯科指導及び歯科による口腔衛生管理、認知症介護基礎研修の受講、ハラスメント対策への取り組み・強化（ハラスメント防止対策義務化に伴い）、虐待防止に関する取り組み・強化、以上の内容を取り組んでいく。

- ・介護に携わる職員のうち該当職員は「認知症介護基礎研修」に参加し、認知症対応力を向上させる。
- ・口腔衛生管理については月一度、歯科医師が来園し、勉強会を開催している。
- ・ハラスメント研修、虐待防止については研修や会議を行い、職員に周知を務めている。

<大台共生園 介護老人福祉施設 実績表>

月	総数	平均	新規	利用料等収入	減免額(件)	備考
4月	1,421	47.4	0	20,003,465	0(00)	2020年度利用実績 利用者数 47.1人/日 利用収入 1,898円/月
5月	1,498	48.3	4	21,147,055	0(00)	
6月	1,386	46.2	2	20,032,454	0(00)	
7月	1,441	46.5	6	21,022,375	0(00)	2021年度利用実績 利用者数 49.1人/日 利用収入 2,102円/月
8月	1,445	46.6	2	20,968,613	0(00)	
9月	1,414	47.1	4	20,685,769	0(00)	
10月	1,464	47.2	2	21,290,693	0(00)	2022年度利用実績 利用者数 48.5人/日 利用収入 2,065円/月
11月	1,386	46.2	1	20,144,660	0(00)	
12月	1,334	43.0	1	19,377,706	0(00)	
1月	1,425	46.0	5	20,635,565	0(00)	2023年度利用実績 利用者数 48.3人/日 利用収入 2,056円/月
2月	1,329	45.8	4	19,298,497	0(00)	
3月	1,486	47.9	2	21,518,080	0(00)	
合計	17,028	46.5	34	246,128,093	0(00)	平均 46.5人/月、2025万円/月

## 6. グレースケアプランセンター 事業報告

事業活動収入 52.0万円/月、43件/月

上記の目標に対し、当期事業活動収入 53.5万円/月、61件/月

1. 令和6年度の介護保険制度改正に伴う体制整備を図ると共に、事業所内のICT化に取り組み、より効率的で効果的な事業運営を推進する。

- ・令和6年度介護保険制度改正に伴う指針マニュアル等の事業所の体制整備を図り、法令順守体制の構築に努めた。
- ・専任1名体制の事業所の為、事業所内のICT化を進め効率的な相談支援体制を目指し、事業運営が推進できるように努めた。

2. 単独型居宅介護支援事業所として、行政機関や他事業所との情報共有と連絡連携を図り、より柔軟に適切なケースワーク支援の実践を図る。

- ・単独型居宅介護支援事業所として、各市行政機関や他事業所との情報共有と連絡連携を図り、柔軟に適切なケースワーク支援が実践できるように努めた。

<グレースケアプランセンター実績表>

月	居宅件数	調査(件数)	利用料等収入	備考
4月	59	0(0)	494,111	2020年度利用実績 利用者数 43.2件/月 利用収入 44万円/月
5月	59	0(0)	501,199	
6月	58	0(0)	561,721	2021年度利用実績 利用者数 43.5件/月 利用収入 39万円/月
7月	62	0(0)	534,841	
8月	63	0(0)	550,852	2022年度利用実績 利用者数 52.5件/月 利用収入 45.9万円/月
9月	63	0(0)	526,721	
10月	65	0(0)	574,426	2023年度利用実績 利用者数 56.1件/月 利用収入 46.9万円/月
11月	63	0(0)	572,458	
12月	62	0(0)	500,538	平均 61.0件、53.5万円/月
1月	59	0(0)	581,094	
2月	62	0(0)	558,774	
3月	58	0(0)	510,830	
合計	733	0(0)	6,422,556	